KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 06B -

画質調整
Fieryコントローラー

別冊：Fieryカラー管理

Ver. 01.01

目次

1 はじめに

2 ワンステップカラー管理

3 ゼロタッチ再キャリブレーション

4 便利な機能を活用した印刷フロー

5 補足情報



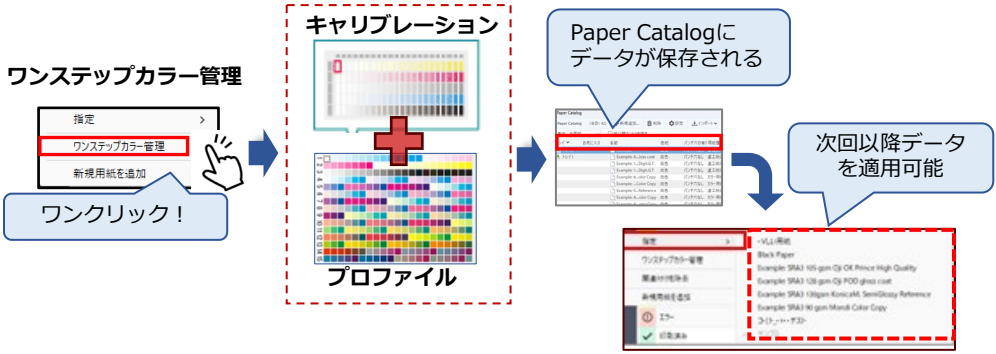
1 はじめに

本書の目的

本書では、Fieryコントローラーを使用してカラーマネジメント機能をより効率的に実施することができるおすすめの機能として、以下の機能を紹介します。

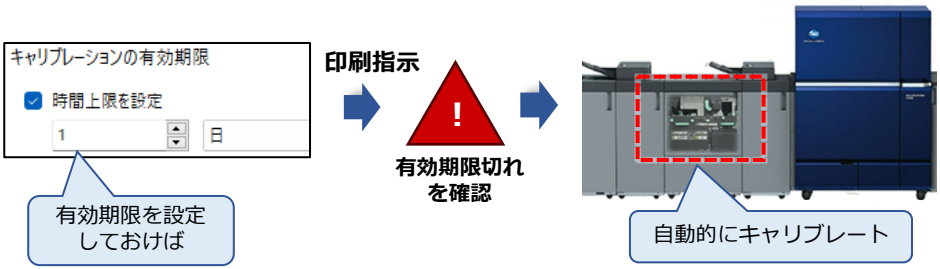
ワンステップカラー管理 ⇒ 2章へ

ワンステップカラー管理とは、**キャリブレーションとプロファイル作成を一度に実施**したり、それにより**作成したデータをかんたんにジョブに適用**することができる機能です。



ゼロタッチ再キャリブレーション ⇒ 3章へ

ゼロタッチ再キャリブレーションとは、キャリブレーションの有効期限が切れたジョブを印刷する際、**インラインセンサーを使用して自動的に再キャリブレートする機能**です。



便利な機能を活用した印刷フロー ⇒ 4章へ

ワンステップカラー管理とゼロタッチ再キャリブレーションを組み合わせることで、より効率的なカラー管理が可能になります。

2 ワンステップカラー管理

準備するもの

- FieryシステムソフトウェアFS600/600 Pro以降を搭載したFieryサーバー
- Command WorkStation 6.8以上
- Color Profiler Suite 5.4.2以上（ライセンスのアクティベート手順は下記参照）
- インラインセンサー（IQオプション）→ 自動測色が可能なため、あると便利

ライセンスのアクティベート手順

① Color Profiler Suite （CPS）をインストールしたPCに、ライセンスとして登録済みの測色器を接続します。
・販売店（代理店）経由でライセンス登録が可能です。登録後にライセンスファイルを入手できます。

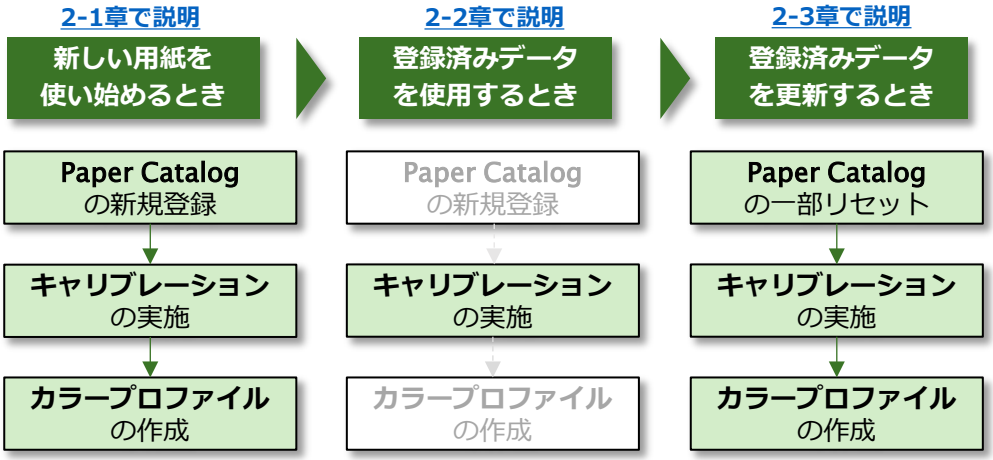
② ライセンスファイルを、CPSをインストールしたPCのデスクトップに保存します。

③ CPS のトップ画面 [ライセンスアクティベート]をクリックします。

④ アクティベートが完了します。
・CPS使用時には、ライセンスとして登録済みの測色器を常にPCに接続しておいてください。また、登録した測色器以外の測色器も使用できます。

活用のタイミング

・ワンステップカラー管理は、主に以下の3つのタイミングで使用します。



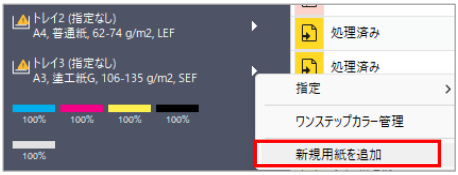
2 ワンステップカラー管理

2-1. 新しい用紙を使いはじめるときの手順

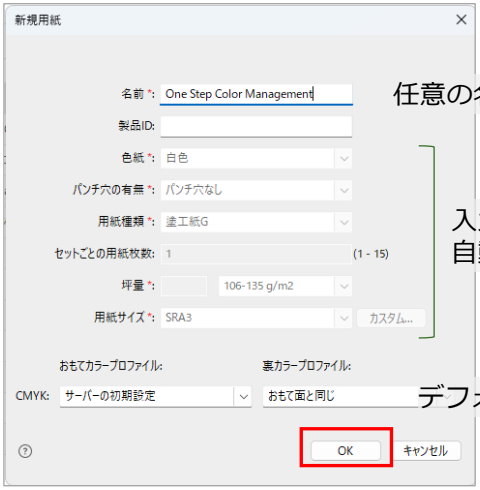
✓ Paper Catalogの新規作成からキャリブレーションとプロファイル作成までを一連の操作でおこないます。

1 用紙トレイに、これから使用する用紙をセットし、本体の[用紙設定]で用紙情報を設定します。

2 Command WorkStationの該当トレイ表示の▶をクリックし、[新規用紙を追加]を選択します。



3 [新規用紙]画面に、以下を入力し、[OK]をクリックします。



任意の名前を入力

入力不要（本体で設定した情報が自動で反映される）

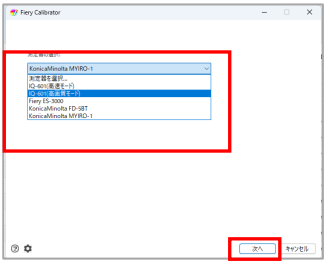
デフォルト状態で

4 該当トレイの名称が変更されたことを確認し、[ワンステップカラー管理]をクリックします。



2 ワンステップカラー管理

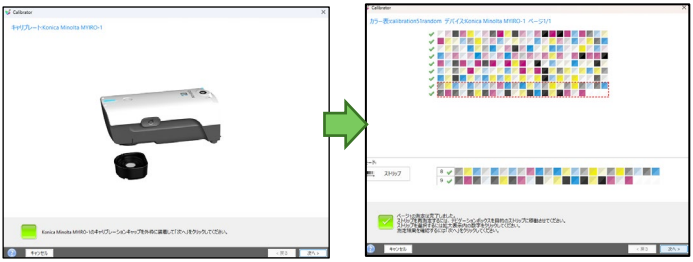
5 Fiery Calibratorが起動したら、測色器を選択し、[次へ]をクリックします。



- IQオプションが接続されている場合は、[IQ-601(高画質モード）]の選択を推奨します。インラインセンサーでチャートを測定し、自動的にキャリブレーションおよびプロファイル作成が実行され、完了となります。
- IQオプションが接続されていなければ、任意の測色器を選択します。

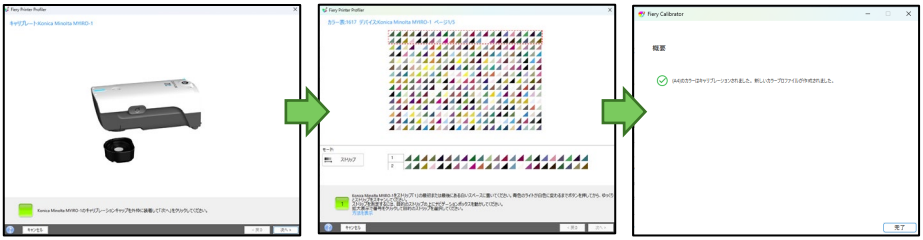
→手順6へ進みます。

6 出力されたキャリブレーションチャートを手動で測色し、完了したら[次へ]を押下します。測色方法については下記動画をご参照ください。



06B-040 Fiery キャリブレーション

7 続いて、出力されたプロファイルのチャートを測色します。



2 ワンステップカラー管理

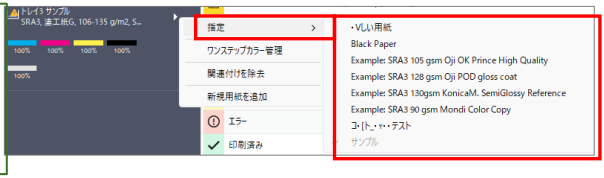
2-2. 登録済みの用紙（Paper Catalog)を使用するときの手順

✓ 2-1章で新規作成したPaper Catalogについて、キャリブレーションデータのみを更新することができます。

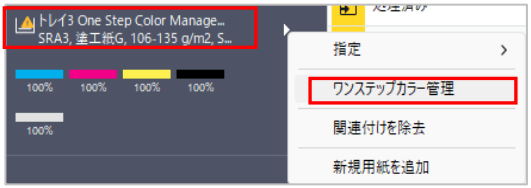
1 用紙トレイに、これから使用する用紙をセットし、本体の[用紙設定]で用紙情報を設定します。

2 Command WorkStationの該当トレイから[指定]を選択し、使用するPaper Catalogを選択します。

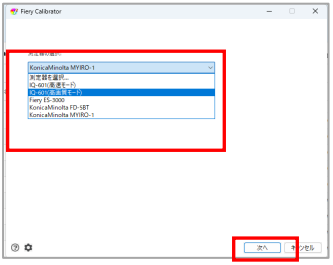
参考：用紙サイズが同じPaper Catalogだけが絞り込まれて表示されます。表示されない場合は、Paper Catalogの設定をご確認ください。



3 該当トレイの名称が変更されたことを確認し、[ワンステップカラー管理]をクリックします。



4 Fiery Calibratorが起動したら、測色器を選択し、[次へ]をクリックします。



- IQオプションが接続されている場合は、[IQ-601(高画質モード）]の選択を推奨します。インラインセンサーでチャートを測定し、自動的にキャリブレーションが実行され、完了となります。

  参考：カラープロファイルは登録済のため、作成されません。

- IQオプションが接続されていない場合は、任意の測色器を選択します。

→ 2-1章　手順6-手順7へ進みます。

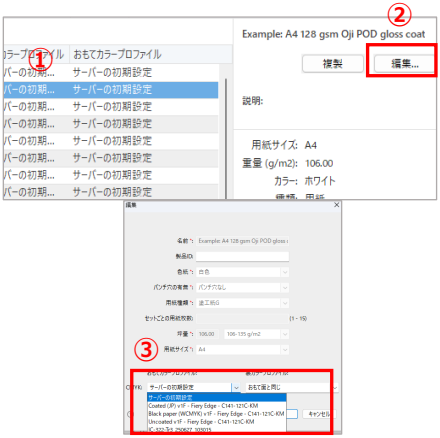
2 ワンステップカラー管理

2-3. 登録済みのデータを更新するときの手順

✓ 機械のパーツ交換を行ったときや、色味を再度調整したいときなどに、ワンステップカラー管理をリセットしてプロファイルを再作成できます。

1 用紙トレイに、これから使用する用紙をセットし、本体の[用紙設定]で用紙情報を設定します。

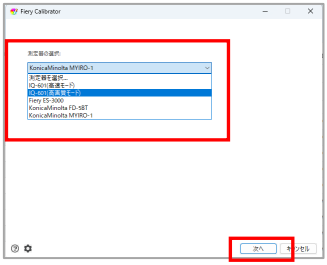
2 Command WorkStationの Paper Catalogから更新したいデータを選択して（①）[編集]をクリックし（②）、[おもてカラープロファイル]と[裏カラープロファイル]を[サーバーの初期設定]に指定します（③）。



3 Command WorkStationの該当トレイから[指定]を選択し、該当のPaper Catalogを選択します。



4 Fiery Calibratorが起動したら、測色器を選択し、[次へ]をクリックします。



- IQオプションが接続されている場合は、[IQ-601(高画質モード）]の選択を推奨します。インラインセンサーでチャートを測定し、自動的にキャリブレーションおよびプロファイル作成が実行され、完了となります。

- IQオプションが接続されていない場合は、任意の測色器を選択します。

→ 2-1章　手順6-手順7へ進みます。

3 ゼロタッチ再キャリブレーション

準備するもの

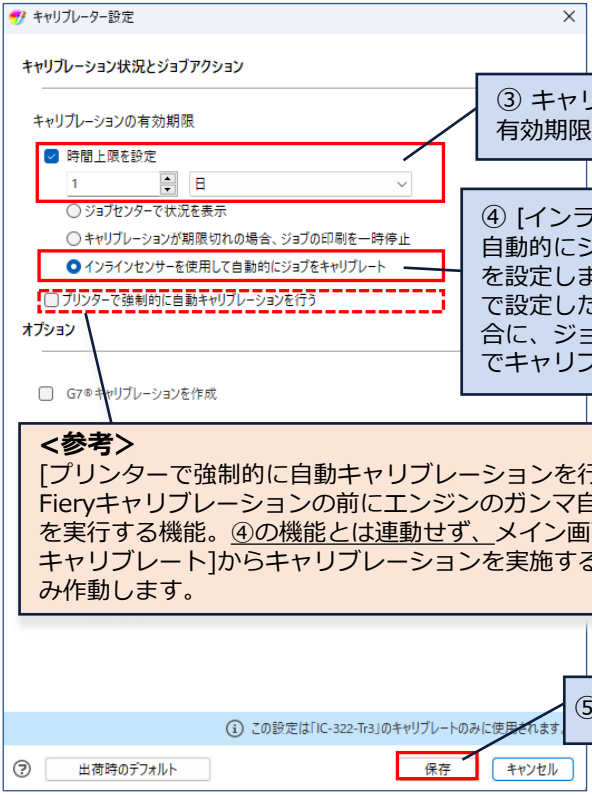
- Fieryシステムソフトウェア FS600/600 Pro以降を搭載したFieryサーバー
- Command WorkStation 6.8以上
- インラインセンサー（IQオプション）

設定手順



① Command WorkStationの[キャリブレート] を選択します。

② [キャリブレーター設定]アイコンを押下します。



③ キャリブレーションの有効期限を設定します。

④ [インラインセンサーを使用して自動的にジョブをキャリブレート]を設定します。そうすることで、③で設定した有効期限が切れている場合に、ジョブを印刷する直前に自動でキャリブレートします。

<参考>
[プリンターで強制的に自動キャリブレーションを行う]：Fieryキャリブレーションの前にエンジンのガンマ自動調整を実行する機能。④の機能とは連動せず、メイン画面の[再キャリブレート]からキャリブレーションを実施する際にのみ作動します。

⑤ [保存]を押下します。

3 ゼロタッチ再キャリブレーション

有効期限の確認方法

キャリブレーションの有効期限はCommand WorkStation上で確認できます。
有効期限が切れている場合、次回印刷時に自動的にインラインセンサーで再キャリブレーションを実行します。



参考

- ゼロタッチ再キャリブレーションは全トレイを対象に実行されます。そのため、印刷時は使用するトレイにPaper Catalogを設定しておく必要があります。
- ゼロタッチ再キャリブレーションの状況は、ジョブの印刷直前に確認されます。ジョブの印刷中にキャリブレーションが期限切れになっても、ジョブは一時停止しません。大量の印刷をする際は、ジョブの印刷中にキャリブレーションが期限切れにならないように有効期限を確認してください。

4 便利な機能を活用した印刷フロー

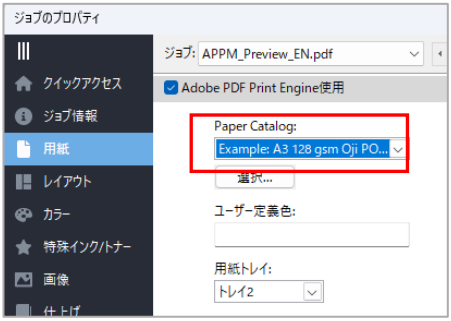
本章では、**ワンステップカラー管理**と**ゼロタッチ再キャリブレーション**を活用した印刷フローを紹介します。

1 本体トレイに、これから使用する用紙をセットし、そのトレイに対してワンステップカラー管理を実施します。（**2章で説明**）

2 ゼロタッチ再キャリブレーションを設定します。（**3章で説明**）

3 Command WorkStationで[ジョブのプロパティ]-[用紙]タブを開きます。

4 [Paper Catalog]より、ワンステップカラー管理で登録したPaper Catalog名を選択します。これにより、用紙情報が自動的に適用されます。



5 その他の設定を実施して印刷を実行します。
ワンステップカラー管理で作成したキャリブレーションおよびプロファイルが自動で適用されたジョブが印刷されます。

また、時間をおいて再印刷する場合でも、ゼロタッチ再キャリブレーションを設定しておくことで手動で再キャリブレートする手間が省けるので便利です。

5 補足情報

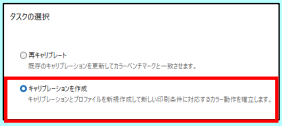
[ワンステップカラー管理]を使用した場合のフロー削減

従来のフロー
（測色機としてIQ選択）

① Paper Catalogを新規追加



② CWSの[キャリブレート]から[キャリブレーションを作成]選択



③ 画面指示に従い、測色器、パッチ選択、プロパティ設定（①で作成のPaper Catalogを適用、など）

④キャリブレーションが実行される。続いてプロファイル作成指示

⑤プロファイルが作成される

Paper Catalogの適用が簡単に！

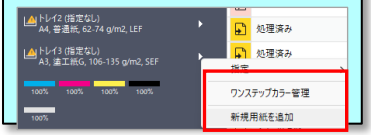
不要

プロパティ設定などの手間なし！

プロファイル作成指示不要！

ワンステップカラー管理使用
（測色器としてIQ選択）

① ワンステップカラー管理実行（2章で説明）



② 画面指示に従い、測色器(IQ)を選択

③ キャリブレーションとプロファイル作成が連続で自動実行される

MEMO

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.